



桃山学院大学
St. Andrew's University

2024 年 2 月 28 日

報道関係各社 御中

【多文化共生シンポジウム】
地域社会に生きるムスリム
—多文化社会の実現に向けて—
3 月 20 日（水・祝）に開催します。

【本件ポイント】

- ◎日本在住のムスリムが地域社会の理解を得ながら、自分たちの信仰の場であるモスクをどのように開設したか、また、ムスリム墓地の建設を求めているかという二つの問題に焦点を当て、多文化社会の実現のために何が必要かを考えます。
- ◎研究者だけでなくムスリムの方々にも登壇いただき、それぞれが直面する課題と現状について報告します。
- ◎研究者はもちろん、近隣自治体の国際化担当者や高校教員・生徒など幅広くご参加いただき、日本の地域社会で暮らすムスリムに対する理解を深める機会としたいと思います。



【詳細】

企 画 名：「地域社会に生きるムスリム —多文化社会の実現に向けて—」
主 催：桃山学院大学 国際教養学部 多文化共生シンポジウム
開催日程：2024年3月20日（水・祝）13:15～16:00（予定）
開催場所：桃山学院大学 聖ヨハネ館／聖ヨハネホール
対 象：どなたでもご参加いただけます。（申込不要／入退場自由）
お問い合わせ：0725-92-7062（学部事務室）

＜登壇者＞（予定）

■「パキスタン人移民によるモスク設立の経緯と現状」

福田友子（千葉大学）

■「埋葬の自由を求めて（Battle for Burial）」

カーン・ムハマド（Khan Muhammad T.）（立命館アジア太平洋大学）

■「大阪イスティクラル・モスク（Masjid Istiqlal Osaka）の開設と今後」

Herizal Adhardi（ヘリザル・アダルディ） 大阪イスティクラル・モスク

■「日本に育った青年イスラーム教徒たち—『ヤングムスリムの窓』プロジェクトの試み」

野中葉（慶應義塾大学）

■「ムスリムにとっての礼拝と喜捨—信仰の二柱」

貞好康志（神戸大学）

【桃山学院大学の紹介】

桃山学院大学は、1884年に英国国教会の流れを汲む英学校をルーツとして、1959年に開学し、2024年には学院創立140周年、大学開学65周年を迎える大学です。

課題解決型授業の先駆者的学びのあるビジネスデザイン学部（大阪府大阪市）に代表される実践的な学びに加えて、国際体験プログラムや地域連携、ボランティア等課外活動プログラムも充実しています。26の国と地域、65の大学との協定を前提とした、どの学部の学生でも参加できる86のプログラムを海外・国内で展開しています。

大学所在地：大阪府和泉市、大阪府大阪市

学長：中野 瑞彦

創設：1959年

生徒数：約6,800名（2023年5月）

【桃山学院大学web サイト】

<https://www.andrew.ac.jp/>

以 上

【本件広報に関する問合せ】〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 学校法人桃山学院 大学統括部 広報課（脇）

TEL 0725-54-3245 FAX 0725-54-3204 /E-mail koho09@andrew.ac.jp

※本リリースは、桃山学院大学 広報課が作成しています。内容等に関するご意見やご助言等、お待ちしております。